



加治川小だより

新発田市立加治川小学校 第11号
新発田市上今泉 366 番地 1 画 33-2435
児童数 236 人 (R 5.3.3 現在)

ホームページアドレス <http://kajikawa-e.shibata.ed.jp/>

夢の実現に向かって

校長 丸山 久志

今年度も残すところあとわずかとなりました。6年生の教室には「卒業まで後14日」という掲示があり、残り少ない小学校生活を大切にしようという気持ちが伝わってきます。6年生に限らず1～5年生も今年度の残り時間を大切にしてほしいと思います。

ある小学校の6年生が卒業文集に載せた『夢』という作文を紹介します。

僕の夢は一流のプロ野球選手になることです。そのためには、中学、高校と全国大会に出て活躍しなければなりません。活躍できるようになるためには練習が必要です。僕は3才の時から練習を始めています。3才から7才までは半年くらいやっていましたが、3年生の時から今までは、365日中360日は、激しい練習をしています。だから1週間の中で友達と遊べる時間は5～6時間です。そんなに練習をやっているのだから、必ずプロ野球選手になれると思います。そして中学、高校と活躍して、高校を卒業してからプロ野球選手になれると思います。その球団は、中日ドラゴンズか、西武ライオンズです。ドラフト入団で、契約金1億円以上が目標です。そして、僕が一流選手になって試合に出られるようになったら、お世話になった人に招待状を配って応援してもらうのも夢の一つです。とにかく一番大きな夢はプロ野球選手になることです。 出典：『イチロー勝利の方程式2002』（永谷脩 著 三笠書房 刊）

この子は、見事に夢を叶えることができました。この作文を書いたのは、日本のプロ野球でもアメリカの大リーグでも活躍したイチロー選手（現マリナーズ会長付特別補佐兼インストラクター）です。イチロー選手はある雑誌の取材で、好きな言葉について『継続は力なり』と答えています。プロ野球選手になるという「夢」に向かって子どもの頃からずっと練習を続けてきたからこそその言葉だと納得できます。

4月になると子どもたちは、中学校への進学・1つ上の学年への進級と新しいステージでの活動が始まります。そこで、イチロー選手のように夢をもって、その夢の実現に向かって努力して欲しいと願っています。いつでも、どの立場にあっても、自分の可能性を信じ、目標をめざして努力する姿は、美しく、感動を与えてくれます。目標達成が素晴らしいことは言うまでもありませんが、たとえ目標が達成されなくても、目標に向けて、努力する過程にこそ大きな価値があります。目標達成のためには、「どうしたら良いか」を身近なところから具体的に考え、決めたことを続けて、努力の積み重ねが、自分を成長させるのだと信じて取り組んで欲しいと思っています。子どもたちには「大きな目標をもって、身近なところから頑張る人」になってほしいと思っています。そのためにもまず、「朝ご飯をしっかり食べる」「家庭学習を毎日実行する」などの身近な目標を設定して地道に努力して、一つ一つ達成して欲しいと願っています。

加治川小学校は、保護者・地域の皆様方をはじめ、多くの関係機関からのご支援とご協力をいただきながら、子どもたちのすこやかな成長に向けて、今年度も教育活動を進めることができました。今年度最終号の紙面より、皆様方に心より感謝申し上げます。